

<第1号議案>

事業報告書

(第9期) 自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

一般社団法人 市民エネルギー生駒
(生駒市北田原町1548番地1)

(第6期) 自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

合同会社 生駒市民共同発電所
(生駒市北田原町1548番地1)

*1～3号機は市民エネルギー生駒・4～5号機は生駒市民共同発電所の事業となっています。

1. 発電実績

2021年度は、これまでに設置した4発電所が順調に稼働、更に11月に完成した5号機を加え、発電実績は天候にも恵まれ予想を上回る結果となりました。

日射量：平年比107%、発電実績：前年比96%、実行計画比110%

<2021年度発電実績>

kWh

発電所号機	発電実績	実行計画	実績/計画
1号機	59,899	54,985	109
2号機	68,457	62,285	110
3号機	67,082	61,652	109
4号機	98,890	89,626	110
5号機	37,063	33,184	112
合計	331,391	301,732	110

実行計画（これまでの発電実績を基に作成した計画で当初計画より約10%高い。4・5号機は当初計画と同じ）

2. 売電実績

発電量に伴い売電金額も増加する結果となりました。

合計 売電計画 9,341 千円に対し、売電実績 10,239 千円となり

計画値よりも 898 千円上回る売電収入になり 2021年度業績に計画比 110%と貢献しました。

売電実績金額合計は 3・4月決算金額調整による（月次売電収入金額合計）

3. 2021年度の活動報告

1) 市民共同発電所の安定操業及び収益の地域還元

前年度より続く新型コロナ、及び今年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻により、全世界が震撼、経済への影響を強めている中ですが、当法人への影響はほとんどなく、前記発電実績の通り、天候にも恵まれタイムリーなメンテナンスにて安定操業を続ける事に注力した結果、1～5号機全て予想を大きく上回る実績を残す事が出来ました。

その結果、出資者への安定配当を維持すると共に、生駒市への固定資産税の支払い、環境イベントとして市民に定着した「環境フェスティバル」でのソーラーカー組立教室に資金援助しました。

2) 市民共同発電所5号機の完成

FIT（固定価格買取制度）に依存しない5号機を、生駒市介護老人保健施設やす

らぎの杜「優楽」南法面に、生駒市及び指定管理者の協力を得て11月設置しました。
コスト削減のため、初めて私募債を発行し、送配電網を経由しない自家消費型、地産地消再生可能エネルギーとなりました。

3) 生駒市・いこま市民パワー株式会社（略称：ICP）の取組に賛同協力

① ICP・エコネットいこまとの連携強化

◆ICPの自社保有株式（510株）を2022年2月28日付けで譲渡し、TJグループホールディング(株)が新たに参画されると共に、生駒商工会議所と当法人の出資額もそれぞれ増額しました。{生駒市765株(51%)、生駒市商工会議所360株(24%)、TJグループHD180株(12%)、南都銀行75株(5%)、市民エネルギー生駒120株(8%)、1万円/株}

ICPへの電力供給4年目を迎え、ICPが進める、地産再生可能エネルギー獲得に対し、5号機完成を始め、住宅用FIT切れ太陽光発電電力の買取りに向け、経営・営業戦略面での全面的な支援を実施しました。

◆エコネットいこまと連携強化を図り市民に定着したイベントへの啓発活動に取り組むと共に、人員・費用面での支援を実施しました。

② 生駒市が推進する環境会議への参加

市民を代表する環境団体として、学識経験者・民間企業と共に生駒市の取り組む環境事業及び課題について意見具申・構築に向け尽力しました。

◆SDGsアクションネットワークキックオフ（10/7）

約50会員、約100名出席

◆第1回生駒市環境審議会(11/9)

「生駒市の環境」について

◆環境モデル都市&SDGs未来都市推進協議会(2/21)

「環境モデル都市令和2年度取組の評価、令和3年度取組進捗状況」

4) 地球温暖化防止活動の展開

①温暖化防止対策のために多様な角度から啓発活動に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響にて、その多くが中止となりました。

ただ、その中においてもいくつかの催しは実施する事が出来ました。

◆10/19：生駒市内環境施設 6名

エコネット講座（生駒市内環境施設見学会）

生駒市民共同発電所1号機見学会

- ◆10/30：エコパーク 9名
 ◇樟蔭女子大学市民共同発電所フィールドワーク
 濱田教授ゼミ（ICP 共催）
 - ◆11/2：帝塚山大学 35名
 ◇「ICP を核とした SDGs 未来都市いこまの創造」ゼミ講座
 - ◆11/21：たけまるホール 約 350名
 ◇環境フェスティバル
 SDGs について考えよう！/ソーラーカー組立教室(エコネット共催)
 - ◆12/5：南コミュニティセンター 中止
 ◇「再生可能エネルギー普及啓発イベント・おひさまエネルギー」
 ソーラーカー工作教室(エコネットいこま共催)
 - ◆2/6：オンライン開催（Zoom） 約 100名
 ◇ららまつり⇒全体会&交流分科会（代表 2名参加）
 - ◆2/27：北コミュニティセンター 中止
 ◇生駒市民共同発電所 5号機完成記念イベント
 （音楽とマジックを楽しみながら SDGs について考えよう！）
 - ・記念講演
 講師：国立環境研究所 システム領域 副領域長 江守正多 氏
 テーマ「気候危機のリスクと社会の大転換」
 - ・音楽ショー
 たつりえ：ギターボーカル（安部立也）、バイオリン（久保田理恵）
 - ・環境マジックショー
 エコマジシャン・ミヤモ（宮本久也）
- *講師・会場共確保するも新型コロナウイルスの影響で中止。
 2/13～2/18 北コミュニティセンターギャラリーにて、パネルのみ展示

②CEI 取組プレゼンテーション活動

- ・斎藤幸平講演会にてスピーチ 約 250名 7/31(檀原社会福祉センター)
- ・環境省 GLA 過去受賞団体ギャザリング報告 約 100名 8/29 (Zoom)
- ・市民の輪いこま自主学习 G フェスタ講演 13名 10/2(たけまるホール)
- ・UII(都市活力研究所)まちづくりフォーラム講演 120名 10/25(Zoom)
- ・「匠の環」ポスター展示プレゼン 約 100名 11/26(奈良県文化会館)
- ・原発ゼロ/3.11 被災者支援奈良の集いにてスピーチ 約 350名
3/5(JR 奈良駅前)

③メディア等への掲載

- ・「じもひと」にて電力の地産地消を進めるCEI紹介 (朝日新聞 6/13)
- ・「市と市民団体が共同出資」でICPを設立した生駒市として掲載
(9/15文響社出版「最近、地球が暑くてクマってます」)
- ・ICP/CEIが直面する再エネ及び新電力の課題について、全国に向け実例として取材記事掲載される。大手との価格競合、法規制、送電網接続等
(朝日新聞全国版 10/5)
- ・連載記事「ならまち暮らし/察美千子(作家)」にて、電力の地産地消に取り組むCEIと共にICPによる住宅用FIT切れ買取りを紹介 (毎日新聞 10/6)
- ・市民共同発電所5号機完成 (朝日新聞 11/13、読売新聞 11/18)
- ・広報誌いこまちに、5号機完成イベント記事掲載 (いこまち 2月号)
- ・総務省発行、生駒市特集号にてエネルギーを切り口としたまちづくりを進める中核としてのICPと共に掲載 (総務省発行情報誌 3月号)

④自家消費型太陽光発電設備の導入検討

- ・9月より、熱心な鹿ノ台みらい会議メンバーとの検討会・現地視察を何度も重ね自家消費型太陽光発電システムについてシミュレーションを含めシステム構成、採算性等内容調査を行いました。
- ・マイクロインバーター付き太陽電池について、その有効性を検討し、メーカー、価格等について検討しました。

⑤市場からの情報収集

- ・PV EXPO スマートエネルギー展での講演会及び展示会への参加

5) 表彰

生駒市制50周年記念式典にて感謝状贈呈されました。(たけまるホールにて)

6) 組織強化及び会員増への取組

- ①念願のWebサイトリニューアルを実施、11/1より新ホームページ開設
当法人の目指す姿、これまでの実績、取組み内容、最新情報をタイムリーに掲載

多くの方に自信を持ってアピールすることが出来る様になりました。

<https://www.ce-ikoma.jp/>



- ②月次の活動については、運営委員7名が定着し、会の議長・書記を完全ローテーションにて実施すると共に、各自各分野に責任を持った取組が定着し活動内容も3ヶ月毎に確認、都度運営委員会にて報告する事により見える化が図れました。
- ③今年度はじめて、帝塚山大学、樟蔭女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学との接触の機会を得、若い世代への浸透をわずかではあるが図る事が出来ました。